

2023年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 七野会	代表者	井上ひろみ	法人・ 事業所 の特徴	法人理念の一つである「その人らしく生きる」ことを大切に援助を行います。 自宅での生活を続けるうえでニーズに合った援助と、出来るだけ自立した生活を行えるように援助を行っていきます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 金閣こぶしの里	管理者	吉田耕太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	2人	1人	0人	21人	0人	26人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新規利用者や事業所の取り組みの情報共有は、全職員が情報収集できるように回覧チェック表をつける。	全職員が回覧できるような回覧チェックは実施できていなかった。情報共有は概ねできているが、職員によってもムラがある状況。	ミーティングの機会が減っている状況。次年度はミーティングを活かし情報共有を円滑におこなっていければ良い。	ミーティングの機会が減った。議論を深める時間を増やすことが必要。ミーティングの機会を増やす。
B. 事業所のしつらえ・環境	日常的な掃除、整理整頓を継続的に取り組む。	概ねきれいにされている。外に花なども植えられた。	外観も重視できればなお良い。花なども枯れていると中のケアもどうかと思う人もいると思う。	日常的な掃除、整理整頓を継続的に取り組む。職員への外観への意識向上、外観の環境整備実施。
C. 事業所と地域のかかわり	近隣住民との関係性を継続、地域の年間行事一覧表などで情報収集し、計画的に地域行事への参加機会を探る。	バザーの取り組みの実施、地域行事への参加などできている。	相談しやすい事業所という点においては、外からみてどういう事業を実施しているかがわかりにくい。掲示板など活用してみてもどうか。	相談しやすい事業所となれるよう掲示板の活用、工夫等をおこなう。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の地域資源について理解を深めるためのツールを作成し地域資源の再アセスメントを実施する。	ツールの作成は実施できていない。	外出、地域行事の参加など頑張っている。地域ケア会議も実施できた。町内会等から情報収集。	外出企画や地域行事への参加を計画・実施していく。地域の年間行事一覧表などで情報収集。
E. 運営推進会議を活かした取組み	家族への参加を呼びかけていく。運営推進会議の内容や日頃の取り組みを広報誌等で家族へ周知していく。	家族への積極的な呼びかけはできていない。また、広報誌での周知などもできていない状況。	運営推進会議に利用者、家族の参加もよびかける。また運営推進会議の結果や日頃の取り組みを広報紙等で周知していければ良い。	利用者、家族への運営推進会議参加を毎回よびかける。運営推進会議内容や日頃の取り組みを広報紙等で家族へ周知していく。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP（災害計画）を作成し、運営推進会議で情報共有をおこなう。地域の防災訓練など実施があれば参加していく。	BCPの共有はできた。地域の防災訓練への参加はできていない。	地域の防災訓練へ参加してみてもどうか。	災害計画の確認、見直し、学習をおこなう。地域の防災訓練に参加する。

